

第20回アジア・太平洋議員フォーラム（APPF）総会

結果概要

第20回アジア・太平洋議員フォーラム（APPF）総会は、加盟20か国及びオブザーバー1か国の議員が参加して、2012年1月8日（日）から12日（木）までの5日間、東京国際フォーラムにて開催された。

1月8日（日）に行われた執行委員会においては、日本国会代表団の事務局長を務める柳本卓治衆議院議員より、APPF規則改正案及び新東京宣言案の趣旨が説明された。また、ロシアより、第21回総会をロシアのウラジオストクで開催したい旨意向が示された。

9日（月）に行われた開会式においては、第20回総会会長の横路孝弘衆議院議長が挨拶を行い、開会を宣言した。次に、衆議院議長とともに同総会会長を務める平田健二参議院議長が開会の挨拶を行った。次に、第19回総会の主催国を代表して、ニヤマー・エンフボルド・モンゴル国国家大会議副議長が挨拶を行った。続いて、中曽根康弘APPF名誉会長が祝辞を述べた。さらに、野田佳彦内閣総理大臣の挨拶が長島昭久内閣総理大臣補佐官により代読された。

日本国会代表団は、事前に提出していた「防災・原子力安全に関する決議案」、「環境・気候変動に関する決議案」、「朝鮮半島情勢に関する決議案」、「中東和平プロセスに関する決議案」、「経済・貿易に関する決議案」及び「文化・教育及び人的交流の促進に関する決議案」の各決議案並びに「APPF規則改正案」及び「新東京宣言案」について、それぞれの担当議員が本会議で趣旨説明を行い、また、起草委員会等において各国の主張を取り入れつつ案文の取りまとめを行うなど、会議の成功に貢献した。

12日（木）に開催された最終会議では、会議の成果文書として、13本の決議、APPF規則改正、新東京宣言及び共同コミュニケに係る各案文が全会一致で採択された後、各国団長が共同コミュニケに署名を行った。

引き続き行われた閉会式においては、まず、平田参議院議長が閉会の挨拶を行った。続いて、ヴァレンチナ・イヴァノヴナ・マトヴィエンコ・ロシア連邦院議長が、次回総会主催の受諾演説を行った。最後に、平田参議院議長が閉会を宣言し、総会は終了した。

また、会議期間中、中曽根APPF名誉会長及び日本国会代表団共催歓迎レセプション、横路衆議院議長主催夕食会及び平田参議院議長主催夕食会が開催された。加えて、各国団長は、野田内閣総理大臣を表敬訪問したほか、藤村修内閣官房長官主催昼食会に出席した。

第20回アジア・太平洋議員フォーラム（APPF）総会

日程

1月8日（日）

午後 執行委員会
夕 中曽根康弘APPF名誉会長及び日本国会代表団共催歓迎レセプション

1月9日（月）

午前 開会式、本会議
午後 本会議／ワーキング・グループ
夕 横路衆議院議長主催夕食会

1月10日（火）

午前 本会議／ワーキング・グループ
昼 藤村内閣官房長官主催昼食会
午後 本会議／起草委員会／ワーキング・グループ

1月11日（水）

午前 本会議／起草委員会／ワーキング・グループ
午後 本会議／起草委員会／ワーキング・グループ
野田内閣総理大臣表敬訪問
夕 平田参議院議長主催夕食会

1月12日（木）

午前 本会議、署名式、閉会式、記者会見
午後 公式視察プログラム